

猪狩喜平治 石橋弘毅
馬目子之松 志賀留吉
長谷川幾之介 湊慶三郎
田中義枝 宮本鐵太郎

◎綴同駐在所
菊地作次郎
◎御厩 同
高橋 勇

内郷村報の 六大使命

- 一、政黨派を超越して、村力充實主義を標榜す。
- 二、村内公私各機關の活動状況を報導し併せて其協調を計り、總親和總努力の實現を期す。
- 三、本村共済事業の徹底を期す。
- 四、村内の善美行を表彰し、且之を獎勵す。
- 五、本村に本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、餘力を以て、國民善導に當る。

内郷村報

天法人則
ニ從順ナ
ルベシ
民惠

行け！北海道へ

拓殖實習場紹介

大内民惠

記者は、丁度一年前の本紙杉田版に、少年時代既に千島渡航を企てた事を書いた。又十余年間、米大陸に、布哇に、移殖民教育を研鑽し、其實際にあつた事も、畢竟するに際限なく蕃殖し行く我國の人口を如何に始末すべきかを憂へてあつた。而して歸朝後其得たる研究と實驗とから海外移住には、資金、修養よき配偶者の三拍子が揃はなければ、好果を得る事が出来ない事を、明かに知り得たので、それを具備した人物を養成して、之を南米南洋樺太及

北 海道に送るべく、この炭礦地に七年會なるものを創立し、相當に宣傳もし、努力したのであつた。されど時期尚早かりしか、將た微力でもあつた爲か、

十一年の間千數百人の若者が出入したであらうが、遺憾ながら豫期の目的は達する事が出来なかつた。たゞこゝ二三年の間に、國を擧げて海外移住熱が起り、記者の斡旋によつても、南米及北海道に、若干の移住者を出したといふ事は、せめてもの喜びであつた。然るに大山鳴動して鼠一疋といふが、我長男一郎が全く自發的に、其鼠一疋となつて顯はれ、北海道移住拓殖を志し、先づ其準備として、昨年十二月創立開場したる北海道拓殖實習場十勝實習場の

實 習生として入場を出願し、幸にも去る三月補缺として入場を許可せられ記者が親しく之を同伴して渡道させたのであつた。之を傳へ聞いた各地の人々か



場習實勝十部一の宿寄堂食所務事 (影撮日一十月三)

「本道拓殖ノ健全ナル發展ハ著實勤勉ナル腕ト頭ト有スル農民ノ力ニ俟タナケレバナラヌコトハ申ス迄モナイ事デアリマス。茲ニ拓殖實習場ノ設置ヲ計畫致シマシタノモスル拓殖ノ人物養成ヲ目的トスルニ外ナラヌデアリマシテ之ヲ昭和七年度ヨリ開設致シ廣ク道ノ内外ヲ問ハズ本道ノ拓殖ニ志アル青年ヲ収容致シマシテ本道農業ノ特質ニ即シタル經營方法ト生活様式トヲ體得セシメ併セテ堅忍不拔ノ開拓精神ヲ涵養センコトヲ期シタイト思フデアリマス」

と説明してあるが、其趣旨及目的は之に盡きて居る。而して實習生の資格は、身體強健志操堅實の青年で、將來自

ら實習場とはどんな處かといふ問合せが絶えず來るのて、其概況をこゝに紹介しておかうと思ふ。之が創設案が北海道會に提案された時に長官は

「本道拓殖ノ健全ナル發展ハ著實勤勉ナル腕ト頭ト有スル農民ノ力ニ俟タナケレバナラヌコトハ申ス迄モナイ事デアリマス。茲ニ拓殖實習場ノ設置ヲ計畫致シマシタノモスル拓殖ノ人物養成ヲ目的トスルニ外ナラヌデアリマシテ之ヲ昭和七年度ヨリ開設致シ廣ク道ノ内外ヲ問ハズ本道ノ拓殖ニ志アル青年ヲ収容致シマシテ本道農業ノ特質ニ即シタル經營方法ト生活様式トヲ體得セシメ併セテ堅忍不拔ノ開拓精神ヲ涵養センコトヲ期シタイト思フデアリマス」

移住開拓者たるべき者であればよいのである。其用地は、十勝北見釧路根室各國內に、一ヶ所宛四ヶ所に亘り、各々一ヶ町歩内外の廣大な全く斧鉞の入りざる處女地で、月並的箱庭的な農學校教育の型を脱却した大規模の開墾事業を營む一種の農場であり、實習生は其見習生とも云ふべきである。實習期間は、一月より十二月迄一ヶ年を原則として、希望者に限り、更に一ヶ年を延長する事を得、食事作業制服は勿論、一ヶ月五圓の手當迄も支給されてあるのである。

收容人員は、一ヶ所百人宛であるから、四ヶ所完成すれば、四百人となるが、毎年千戸乃至數千戸を上下する本道移住者の數に比すれば、寧ろ少きに過ぎるといふべきである。而して終了者には、特に道廳に於て種々便宜を計つてくれる事は勿論なのである。之を要するに實習場は、普通の農學校や、丁株式を參酌した我國現在の國民高等學校や軍事教育を主眼とする青年訓練所や、小學教育の延長たる農業補習學校などは其趣を異にし、計畫の



業作材製の生習實向 (影撮日五十二月五)

動車にて約三十分の道程、南北二里、東西一里、面積九百三十五町歩余、坦々砥の如き農耕適地たる棚の大樹の中央に立てられた七棟約四百坪の建物が即ち其誕生姿なのである(本年に入り建坪倍加す)指導員は場長以下數名、實習生は全國三百余人の志願者中より嚴選せられた五十人の若人、年は十九から三十(以下二面へ)

本紙發行は内一家の事業にして、其の社説は子孫に對する遺言を兼ねるものなり。

本紙定價 一冊五錢 一年五圓 半年三圓
發行所 内郷村報社
編輯發行所 内郷村報社
印刷所 内郷村報社

七月八九の兩日は福島に遠征し八日は福島高商、九日は福島師範と對抗し、競技部の歴史に輝き異彩を放つべく、猛練習を繼續しつゝ、

(昭和八年四月十六日)

(二面よりつづ)

一迄、教育は尋常小學校卒業生から中等學校以上の卒業生迄といふ頗る難然たるものであるが、長は兄、少は弟となり、

和 氣霽然、十八づゝの五班に分れ、指導員を師父と仰ぎ、春風駘蕩たる一大家庭を形づくり、和衷協同尊き使命に向つて精進して居るのである。開場以來、こゝに半歳、樹測伐木造材製炭等豫定の課程を終へ、既に百二十余町歩を開拓し食用飼料販賣等に充つるを耕馬三十五頭、乳牛豚細羊何れも二十頭、雞數百羽、密蜂若干等の家畜を擁して研鑽をさゝぐ怠らざる有様である。而して

晴 耕雨讀は本場の特徴で以上の實習種目と共に隨時農業に關する約二十の學科について、教授する事になつて居る。

以上は實習場の概況で、六十年前開拓の當初に於て既にかうした計畫があつて然るべきであつたと思はるるが、遅滞しながらも、今日此實現を見たる事は、本道は勿論、國家にとつても一大慶事といふべく、我當局が之を創立したる卓見と

之が經營苦心とに對しては滿腔の敬意を表せざるを得ないのである。次に大に特筆すべきは、親しく此事業にあたる人々の、人選其宜しき得たる事である。場長野傳氏は、北大出身の技師で、根室農事試験場長たりし斯道の權威、學者にして學者臭からず、官吏にして官吏臭からず、教育家にして教育家臭からず、其處に眞の學者たり官吏たり、教育家たる奥床しさがあり、其肥滿せる體軀、温乎たる風貌、抜目なき統制如才なき采配、一言以て評すれば、慈母を兼ねた嚴父とも云ふべく、全場中の人間は愚か、家畜の末に至る迄、其徳に懐くと云ふ風である。之を助くる首席技師博彦氏は、四國に生れ

熊 博彦氏は、四國に生れ上川支廳管内に、普通の移民として一戸分の土地貸附をうけ、拮据幾年完全に開拓を了して、立派な自作農となり、其地方の重鎮たりし、現代稀に見る温厚篤實の士、身を以て人を率ゆるとは、眞に氏の如き人物にして始めて之を望むべきものと思はれる。之に加ふるに宇都宮農林を出て丁抹に遊學したる横田友之氏、盛

岡農林獸醫科出身の鉢呂繁雄氏、庶務の前田正寛氏等何れも錚々たる材が其中心となり、且つ學理に、實際に、堪能の士を全道より物色羅致し來つて、囑託講師として指導に任じて居る。されば今や期待以上の好成绩を擧げ名聲噴々視察者相次ぐの盛觀を呈して居る。こゝに、薫陶をうけた實習生も、必ず豫期以上の成績を顯はし、本道開拓史上に

偉 大なる足跡を印する事を信じて疑はざるを念願に堪へざる次第である。時しも初夏、登山期節も近づき、全國大小の學生等は、多額の費用を父兄にねだり、何々アルプス處女峯征服など、騒ぎ廻り、又さる大學などでは、學問の獨立など、稱して、頗る不心得な騒ぎをして居るが、毎

本村々々議員選舉は五月八日村會議事堂に於て舉行即日開票。立候補者三十六名中、當選者三十名の氏名は四面職員録に掲載の通りである。磐炭側立候補者全部當選。有権者四、九九九名。失格者二〇二名。投票

本村々々議員選舉は五月八日村會議事堂に於て舉行即日開票。立候補者三十六名中、當選者三十名の氏名は四面職員録に掲載の通りである。磐炭側立候補者全部當選。有権者四、九九九名。失格者二〇二名。投票

本村々々議員選舉は五月八日村會議事堂に於て舉行即日開票。立候補者三十六名中、當選者三十名の氏名は四面職員録に掲載の通りである。磐炭側立候補者全部當選。有権者四、九九九名。失格者二〇二名。投票

本村々々議員選舉は五月八日村會議事堂に於て舉行即日開票。立候補者三十六名中、當選者三十名の氏名は四面職員録に掲載の通りである。磐炭側立候補者全部當選。有権者四、九九九名。失格者二〇二名。投票

重要事項摘録

六月分
太陽會 島田兼吉、山崎金與、櫻村は、一同の感銘喝采する處

教育制度改革概論

矢野 恒太 大内民惠著
行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理と實際と、歴史と實驗とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同攻撃に違あらず。味仕、不思議激ニ打テ申候云々。

村會議員改選

本紙贊助金寄贈芳名
金五拾錢 平町伊藤せい子
金參圓 金坂佐藤 繁
金貳圓 平町大嶺 庫
金壹圓 高坂田口 淳三
金參圓 勞務 某 氏
金貳圓 内郷 草野 五朗

修學旅行

日本評論社
内郷村報社

本紙贊助金寄贈芳名
金五拾錢 平町伊藤せい子
金參圓 金坂佐藤 繁
金貳圓 平町大嶺 庫
金壹圓 高坂田口 淳三
金參圓 勞務 某 氏
金貳圓 内郷 草野 五朗

本紙贊助金寄贈芳名
金五拾錢 平町伊藤せい子
金參圓 金坂佐藤 繁
金貳圓 平町大嶺 庫
金壹圓 高坂田口 淳三
金參圓 勞務 某 氏
金貳圓 内郷 草野 五朗

本紙贊助金寄贈芳名
金五拾錢 平町伊藤せい子
金參圓 金坂佐藤 繁
金貳圓 平町大嶺 庫
金壹圓 高坂田口 淳三
金參圓 勞務 某 氏
金貳圓 内郷 草野 五朗

村內五校
修學旅行
村內四小學校及家政女學

本紙贊助金寄贈芳名
金五拾錢 平町伊藤せい子
金參圓 金坂佐藤 繁
金貳圓 平町大嶺 庫
金壹圓 高坂田口 淳三
金參圓 勞務 某 氏
金貳圓 内郷 草野 五朗

本紙贊助金寄贈芳名
金五拾錢 平町伊藤せい子
金參圓 金坂佐藤 繁
金貳圓 平町大嶺 庫
金壹圓 高坂田口 淳三
金參圓 勞務 某 氏
金貳圓 内郷 草野 五朗

校の上級生六百余人は、六月十五日四校長三十名の職員、金澤助役加藤生田馬目宮本の各學務委員、島田高萩五十嵐の各校醫、三看護婦、猪狩足立吉田根本の諸有志家に附添はれ、特別立列車にて午前三時發、同九時原宿驛着、先づ明治神宮に參拜、それより十九臺の自動車に分乘し、宮城遙拜、靖國神社參詣、上野淺草公園、地下鐵道等を見學して、午後五時上野發、同九時無事歸着した。磐炭東京本社よりは全部に對して、雜誌帖鉛筆名所繪葉書の寄贈があつた。費用は尋常科兒童一人當り一圓九十錢で、村からは内七十錢の補助があつた。尙極秘裡に三十余人の貧困兒童に對し兒童教育後援會より、一人當り一圓五十錢づつを給與し、何等の不自氣兼ねもなく、此一行内に加はらしめた事は、特筆に値すべきものと思ふ。

本紙贊助金寄贈芳名
金五拾錢 平町伊藤せい子
金參圓 金坂佐藤 繁
金貳圓 平町大嶺 庫
金壹圓 高坂田口 淳三
金參圓 勞務 某 氏
金貳圓 内郷 草野 五朗

本紙贊助金寄贈芳名
金五拾錢 平町伊藤せい子
金參圓 金坂佐藤 繁
金貳圓 平町大嶺 庫
金壹圓 高坂田口 淳三
金參圓 勞務 某 氏
金貳圓 内郷 草野 五朗

重要事項摘録 六月分

矢野 恒太序 大内民惠著
教育部之吉野 大内民惠著
(四六版二二頁 定價五十錢 郵税六錢)

重要事項摘録 六月分

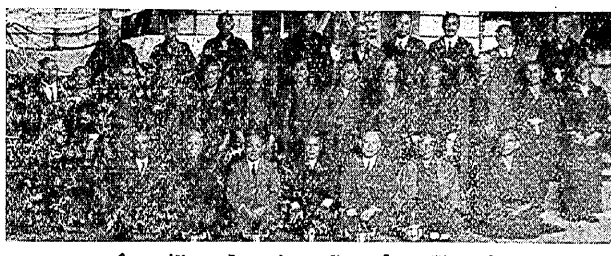
太陽會 島田兼吉、山崎金興、樫村好度、藁谷豊之助四氏によつて發起せられた同會は、五月十一日昭和館に於て、其發光式を舉行するや、一閃忽ち全國の新聞を賑はし

即吟したる左の鴨綠江節とは、一同の感銘喝采する處であつた。

はげました、私しやのつべらば一にアノはげました。金も出來たしアノ子も出來たヨイヨイ、から大事にヨウ百までもいきてヨウそして又世の爲つきたいチヨイくチヨイヤナチヨイ。

尙互選の結果決定したる理事は左の通りである。

樫村好度 島田兼吉
山崎金興 平田良三
生田常弘 濱崎善三郎
會田政治郎 久野喜平
山崎庫太郎
常務理事 大内民惠



前青木牛久、側久、會來、發松、式村、紀沼、念長 (順級等各賞入)

たるは勿論、本縣海外協會會報によつて、全世界に其光彩を放つに至つた事は、意外の大成功であつた。詳細の記事は、上述の通り既に周知の事であるから之が掲載を見合はすが、當日山崎金興氏のハゲ禮讚のスピーチと濱崎善三郎氏の即作

行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理と實際と、歴史と實驗とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同枚舉に違あらず。されど未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の權威
京大總長小西重直博士
書を寄せて曰く、多年ノ御體験ト實地ノ御試練ニ基ク眞摯愛國ノ大精神ヲ拜味仕リ不思感激ニ打テレ申候云々。

陸上競技

磐炭健保組合主催にて五月二十八日金坂グラウンドに開催。町田坑一〇七點五を得て優勝した。

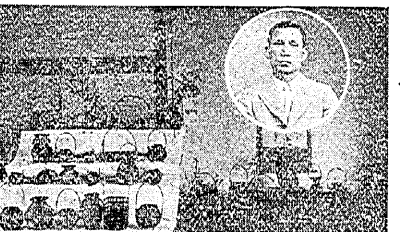
磐中保護 者評議員會は十五日磐中に開催、本村よりは菅原萬治郎菅波忠治大内民惠の三氏出席す。

人事消息

◎根本富彌氏、大正九年七月以來綴郵便局長として、精勵を致したる同氏は、五月一日逝去、行年五十歳。

◎中村範一氏、大正十二年四月早大理工科を出て、入社以來十一年、累進して綴坑長次席として、前途有望なりし氏は、腸チブスの爲五月三日逝去、遺族は故山廣島に歸還す。

◎中野新平氏、氏が敏腕を振ひつゝ、あつた北鮮阿吾地炭礦は、他に賣山されたので、其礦山主たる在京城の荒井組本店に勤務する事となつた。定めし杉山高濱兩氏とも久瀾を叙した事と思



副業獎勵細工展覽會 (氏雄千三草野は内圓)

衛生展覽會 磐炭保險組合主催の下に、五月十六日より三日間、淺野頌徳館に於て開催、多數の參觀者があつた。

共濟委員 五月十一日植田町に開催された農繁期託兒事業講習會に本村より田中猪狩山崎松村大内の諸氏出席。同十七日同事業問題に關し協

麥笛吟社 同人石田修二氏との結婚を祝する爲五月二十七日同氏宅に祝賀會開催盛會を極む

トッキー 保主催、六月十七十八兩日晝夜頌徳館にて映寫、大入滿員。

プール 磐炭にては本日よりプールを開くことになり、全山に注意書を配布した。

採炭夫募集

一、募集人員、各坑を通じて四十名。二、十八歳以上三十五歳以下、身体検査人物考査の上採用。三、希望者は各坑務係及七年會に申込むべし。

昭和八年六月 磐城炭礦々業所

日此實現を見たる事は、本道は勿論、國家にとつても一大慶事といふべく、我當局が之を創立したる卓見と

遊學したる横田友之氏、盛名。失格者二〇二名。投票

寺に郡聯合の常務委員會あり本村より大内常務出席。

竹細工 三千雄氏が、本村窮民救済の副業にもと私資を投じて竹細工を研究しつゝある事は、既報の通りであるが、其稽古會の作品展覽會を、五月十四日家政女學校に開催したるに、多數の參觀者があつた。是非一般の副業に迄擴張したものである。

村内五校 修學旅行
村内四小學校及家政女學

發行所 日本評論社
東京丸の内昭和ビル
取次所 内郷村報社

金貳圓 平町大嶺 庫
金壹圓 高坂田口 淳三
金參圓 勞務某 氏
金貳圓 内郷草野 五朗

内郷村公私團體職員録(一)

Table listing village officials and members of public and private organizations. Columns include position (e.g., Village Chief, Councilor), name, and affiliation.

水泳部報

水泳部報 (其一) 廣瀬六三
水の王國日本は昨年ロスアンゼルスで、各國選手を蹴飛ばして海國男子の意氣を示し、我々を歡喜せしめました。此歳に生れた我輩炭水泳部は本年やつこ二歳の赤子で、之から皆様の守りに依り大いに成長せんことを期すものとす。

競技部報

會川源三

五月七日淺野翁頌徳記念會館開館の日を卜し、競技部主催、第二回金坂グラウンド町長橋間の長距離競走を舉行、参加者四十三名中落伍者僅かに四名にて盛會を極む。参加者全部に賞品を呈した。入賞者は、一着高橋武夫(綾)三十分二分一、二着佐久間章(高坂)四分二分一、三着高木佐次郎(高坂)四分四分一、四着佐々木運(町田)五分四分一、五着高村千代松(綾)。

滿洲だより

鐵道第一中隊 瓦房店にて鈴木吉之助

草野三千雄様 (前略) 其後皆様にばお變りありませんか御伺ひ致します、小生もお蔭様で相變らず元氣で軍務に従事して居りますから、どうぞ御安心下さい。今日は久しぶりの滞在なので、古宣の通りを眺めながら此手紙を書きます。思へば昨年四月幾多同胞の歡呼の聲に送られて、母國の山川草木を別れを告げてから最早一年になりました。北は昂々溪、南は、牡丹河、幾多の戰闘を致しましたが、神佛の御加護に依つてまだ生命があります。早いものは一ヶ月位で陣没した人もあります。自分が今日迄病氣一つせず國家の爲御奉公出来る事を幸福だと思つて居ります。それら皆様が朝夕に我等の武運長久を祈願なすつて下さるからであります。滿洲へ来て皆様へ手紙を差上げたのは三四回であります、それも途忙しので、多くの村の方達には上げず、多分出るに居りますから、どうぞ宜しく御傳へして下さい。皆様にかうして手紙を差上げる事の出来る内は自分としても幸福であり、又生命がある内であり、身は北滿にあれども、心だけは御傳へしたいと思つて居ります。内地は今花に浮かれる人々のために、短い春の一日でありませう。櫻は満開にて人の波うつ様に賑やかであります。滿洲は日一日と暖かさが増して来ましたが、野も山もまだ青くはなりません。又地上には氷が有ります。その内には野も山も青くなつて春らしい氣分が来るでせう。二十二日に瓦房店を引き上げて、熱河の方へ行く事になりました。到着次第又おたよりする事にいたします。(昭和八年四月十六日)

内郷村報の

六大使命

- 一、政黨政派を超越して、村力充實主義を標榜す。
二、村内公私各機關の活動状況を報導し併せて其協調を計り、總親和總努力の實現を期す。
三、本村共済事業の徹底を期す。

- 四、村内の善事美行を表彰し、且之を獎勵す。
五、本村と本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
六、尙餘力を以て、國民善導に當る。

本紙發行は大内一家の事業にして、其の社説は子孫に對する遺言を兼ねるものなり。

本紙定價 一月一元、三月三元、半年五元、一年十元。
發行所 大内郷村報社
印刷所 大内郷村報社

天法人則 從順ナ

ら實習場とはどんな處かといふ問合せが絶えず来るので、其概況をここに紹介し

大にして、しかも創造的なる、斷じて他の追随を許さぬものである。今